



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月3日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2814 URL <https://www.sato-foods.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 正博  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 那須 智 (TEL) 0568-77-7316  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,469	5.3	480	△22.4	624	△11.9	456	△18.8
2022年3月期第3四半期	4,243	—	619	50.8	709	41.2	562	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第3四半期	108.75		107.68					
2022年3月期第3四半期	89.74		89.21					

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第3四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,954	19,065	90.8
2022年3月期	20,317	18,740	92.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,024百万円 2022年3月期 18,704百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2023年3月期	—	15.00	—		
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,840	3.5	518	△33.7	665	△24.2	494	△32.1	118.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	9,326,460株	2022年3月期	9,326,460株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	5,271,412株	2022年3月期	5,111,412株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	4,195,266株	2022年3月期3Q	6,264,408株
------------	------------	------------	------------

(注) 2023年3月期第3四半期末自己株式数には、「従業員株式給付信託 (J-ESOP)」の信託財産として(株)日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 160,000株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8
生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」といいます)感染拡大防止のための行動制限が緩和され人流が回復するなど、社会経済活動の正常化が進み、個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、本感染症の収束時期を見通すことが困難であること、各国の金融政策見直しに伴う為替相場の変動、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済につきましては、世界的に本感染症の規制を緩和する動きが広がるなど、社会経済活動の正常化が進むものの、金融資本市場の変動による景気の下振れリスクや、ロシア・ウクライナ情勢など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社といたしましては、顧客、取引先及び従業員の安全確保を最優先に、一時的な操業停止など本感染症の感染拡大に伴うリスクを避けるため、マスク着用や手洗い消毒などの、基本的な感染拡大防止対策を講じつつ、国内の感染状況に応じて営業活動や来客対応の制限などの対策を行うとともに、変化、多様化する消費者ニーズやエネルギーコスト及び原材料コストの動向に注視しながら事業活動を継続してまいりました。

このような状況のもと、当社の当第3四半期累計期間における売上実績は、茶エキスを中心に緩やかな回復基調で推移しました。

茶エキスにつきましては、玄米茶エキス・ウーロン茶エキス等が減少したものの、ほうじ茶エキス・紅茶エキス等が増加したため、売上高は1,845百万円(対前年同四半期比6.4%増)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末ソース・粉末酢等が減少したものの、粉末鰹節等が増加したため、売上高は1,420百万円(同2.2%増)となりました。

植物エキスにつきましては、果実エキス等が増加したため、売上高は559百万円(同9.7%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、白醤油・チキンエキスが減少したものの、昆布エキス等が増加したため、売上高は551百万円(同3.9%増)となりました。

粉末酒につきましては、ブランドタイプ等が減少したものの、ワインタイプ等が増加したため、売上高は87百万円(同18.2%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,469百万円(同5.3%増)となり、前年同四半期に比べ226百万円増加しました。

利益面につきましては、売上原価の増加により営業利益は480百万円(同22.4%減)、経常利益は624百万円(同11.9%減)となりました。また、法人税等127百万円(同14.2%減)を計上したため、四半期純利益は456百万円(同18.8%減)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は20,954百万円となり、前事業年度末に比べ637百万円増加しました。

流動資産については12,414百万円となり、前事業年度末に比べ519百万円増加しました。主に、売上債権が449百万円増加したことによります。

固定資産については8,540百万円となり、前事業年度末に比べ117百万円増加しました。主に、繰延税金資産が88百万円減少したものの、投資有価証券が227百万円増加したことによります。

負債合計は1,889百万円となり、前事業年度末に比べ311百万円増加しました。

流動負債については1,819百万円となり、前事業年度末に比べ311百万円増加しました。主に、未払金が72百万円減少したものの、仕入債務が351百万円増加したことによります。

固定負債については70百万円となり、前事業年度末から変動はありませんでした。

純資産合計は19,065百万円となり、前事業年度末に比べ325百万円増加しました。主に、自己株式の取得により257百万円、配当金の支出により147百万円減少したものの、四半期純利益456百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が268百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年2月3日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,182,619	9,198,302
受取手形及び売掛金	1,239,729	1,688,868
製品	686,690	674,433
仕掛品	429,550	313,525
原材料及び貯蔵品	307,125	434,214
その他	48,546	105,242
貸倒引当金	—	△523
流動資産合計	11,894,261	12,414,063
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,460,639	1,388,828
機械及び装置(純額)	685,387	623,368
土地	2,558,304	2,558,304
建設仮勘定	149,377	232,970
その他(純額)	101,509	125,103
有形固定資産合計	4,955,217	4,928,576
無形固定資産		
投資その他の資産	40,028	32,308
投資有価証券	3,007,182	3,234,365
破産更生債権等	1,409,286	1,408,334
繰延税金資産	138,410	49,537
その他	282,829	296,104
貸倒引当金	△1,409,286	△1,408,334
投資その他の資産合計	3,428,422	3,580,007
固定資産合計	8,423,668	8,540,891
資産合計	20,317,930	20,954,955

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	282,909	634,724
短期借入金	670,000	670,000
未払金	208,089	135,716
未払法人税等	79,717	90,137
賞与引当金	110,000	55,551
その他	156,718	232,944
流動負債合計	1,507,435	1,819,074
固定負債		
役員退職慰労引当金	14,580	14,580
資産除去債務	55,649	55,649
固定負債合計	70,229	70,229
負債合計	1,577,664	1,889,303
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,439,113	4,439,113
利益剰余金	13,277,384	13,586,077
自己株式	△3,406,859	△3,663,979
株主資本合計	17,981,914	18,033,486
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	722,724	990,954
評価・換算差額等合計	722,724	990,954
新株予約権	35,626	41,212
純資産合計	18,740,265	19,065,652
負債純資産合計	20,317,930	20,954,955

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	4,243,550	4,469,601
売上原価	2,973,690	3,324,665
売上総利益	1,269,859	1,144,935
販売費及び一般管理費	650,055	664,176
営業利益	619,803	480,759
営業外収益		
受取利息	759	833
有価証券利息	294	98
受取配当金	78,498	89,591
助成金収入	—	45,844
貸倒引当金戻入額	—	51
その他	12,916	10,978
営業外収益合計	92,467	147,396
営業外費用		
支払利息	2,767	2,766
投資有価証券償還損	—	536
その他	227	60
営業外費用合計	2,994	3,363
経常利益	709,277	624,792
特別利益		
受取損害賠償金	3,000	914
特別利益合計	3,000	914
特別損失		
損害賠償金	—	3,113
固定資産除却損	1,415	546
投資有価証券評価損	—	38,275
特別損失合計	1,415	41,936
税引前四半期純利益	710,861	583,770
法人税等	148,711	127,552
四半期純利益	562,150	456,218



### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2022年11月4日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」(以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結する信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。)を2022年11月25日より導入しております。

(1) 本制度の概要

本制度は、米国のESOP(Employee Stock Ownership Plan)制度を参考にした信託型のスキームであり、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し勤続年数に応じたポイントを、加えて管理職には管理職ポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を付与します。管理職を含めた従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 本信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期会計期間末の本信託に残存する当社株式の帳簿価額は257百万円、株式数は160,000株であります。

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社は、食品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,830,917	0.1
粉末天然調味料	1,296,374	△7.0
植物エキス	594,661	17.8
液体天然調味料	535,257	3.6
粉末酒	78,975	△3.9
合計	4,336,186	0.2

(注)金額は、販売価格によっております。

## ②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,845,019	6.4
粉末天然調味料	1,420,956	2.2
植物エキス	559,536	9.7
液体天然調味料	551,884	3.9
粉末酒	87,858	18.2
その他	4,345	△1.0
合計	4,469,601	5.3

(注)主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
三菱商事ライフサイエンス(株)	496,080	11.7	505,029	11.3
(株)伊藤園	437,923	10.3	496,649	11.1